

“” 祝！ 20 周年 “”

●主な活動の記録 (1 月～3 月)

1 月 14 日（土） 定例活動 矢田山遊びの森

本年初めての活動ながら、寒く雪の予報もあつたか参加者は 13 名と少な目。お互い年の初めの挨拶を交わし、朝会は特別に情報館で。理事長より、本年は設立 20 周年であり、あらためてクラブ設立の経緯と趣旨等を振り返り、記念事業もひかえ、一層の頑張りをと。

ついで設立以来の会員である八木さんより、当初の様子を振り返っての話。その後、昨 12 月に開催された県環境教育指導者交流会で活動報告を行った同研修会の第一期生である岡本理事が、その内容をパワーポイントを使って披露。

本日の活動は、まだ松の内で竹・木の伐倒は避けるべしとの声があり、横断幕支柱の作り替え、子ども交流館まわりのベンチを洗ったりした。

昼には温かい甘酒で体を温めてから、午前の作業の続きをし、空模様が怪しいので、早目に終了。あと開催された定例理事会で、

- ・「永遠の森」づくり作業日程一事前、直前、当日準備に分け検討
- ・植樹祭参加者募集のチラシの内容確認と配布先の検討
- ・新年会費用の確認
- ・F V 連リーダー研修会の日程検討
- ・総会の反省と議事録の確認
- ・昨年のクラフト実績報告



設立時を振り返り一八木さん



支柱の作り替え



ベンチの清掃

1 月 19 日（木） 新年懇親会 西大寺味楽座

季節柄か、理事長以下幾人かが体調不良で欠席の為、参加者は 14 名とやや少なめ。代わって理事の岡本が開宴の挨拶。本年、設立 20 周年を迎えられるのは、先輩達が歩んできた道を、日頃会員達がこれを拓きながら地道に辿ってきたお蔭と感謝すると共に、記念事業の成功に向けて力を合わせて頑張りたい。また昨 11 月の環境大臣表彰の受賞は、またとない励みとなり、大きな節目の年に花を添える事となった。今年一年無事安全に楽しく活動ができるよう皆の協力を願った。喫緊の課題として、新しい数名の会員が頑張ってもらい喜ばしいことながら、高齢化と数の減少を打破すべく、新規会員勧誘に努めることが必要と結び、次いで今年卒寿を迎えられる最長老内山さんの発声で乾杯。その後、鍋を囲んで美酒を片手にしばし大いに歓談。この間奈良マラソンに出場した奥会員による、壮年の部（60 歳以上）での上位入賞を目

指しての奮闘の様子の報告を挟み、話が弾んだ。

飲み放題もオーダーストップの時間となり、中締めで若手会員である小野さんの今後の活動に向けての力強い決意表明があり、続いてこれも若手の谷川さんによる一本締めでお開きとなった。

#### 1月28日(土) 定例活動 矢田山遊び森

天候に恵まれたこの日の参加者17名。器具類の整理をする3名を残し、あとは頂上展望台へ。現地で植樹祭のための地拵え作業要領説明後、まず南東角に階段を作るための木を運ぶ。ついで埋まっている伐倒木と小枝も含め南側藪への搬出。更に北斜面のアカメガシワ二本の除伐片付け。

午後も引続いての作業とクスノキ2本の伐倒処理。クスノキについては過日、植栽計画作成にあたりアドバイスをもらうため下見をして頂いた馬見丘陵公園清水前館長の当県では目づらしくなく、この程度の木は巨木とも言えない等の話を紹介。この日の予定の作業を2時過ぎに終了し下山。あとチェーンソーの整備、植栽位置明示のための竹串作りをし終了。本事業担当理事の奥村が、苗木の発注先である郡山の土田敷島園へ行き確認と、現場の下見打合せを2月11日とすることとした。



—地拵え作業風景—

#### 2月11日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

「永遠の森」づくり地拵えのため、参加者16名全員頂上展望台へ。この日の主な作業は、草刈りと植樹のための試し堀り。草刈りは、カマ・剪定バサミと下刈器で、それぞれの区域丁寧に刈り上げた。試し堀りは桜の苗木の植樹予定地で、苗木が大きく、鉢のサイズ30cm位と想定されるので、直径90cmを掘ってみると、予想通り笹の根がかなりびっしりはびこっているため、根切りにかかなりの手間がかかりそうで、当日は剪定バサミの活用を検討。昼食時、女性達からのチョット早目のバレンタインデーのチョコの差し入れで疲れを癒した。

午後の作業再会後しくばくもしないうちに、予報通り雪が降り始め、積る懸念もあり、早々に切り上げて解散。定例理事会報告。

- ・植樹祭来賓の要請の状況
- ・準備の進行状況
- ・一般参加者募集チラシの配布状況
- ・申込状況
- ・FV連リーダー研修、日程(4月15~16日、曾爾村)と参加費の決定
- ・緑推の街頭募金 4月15日近鉄奈良前、苗木配布 4月29日 馬見丘陵公園

#### 2月15日(水) 自主活動 矢田山遊びの森

林野庁助成の「森林・山村多面的機能発揮対策事業」の竹の除伐。今年度最後の作業日となるこの日、参加者12名が頂上展望台近くで、残りの竹の伐採、伐ったままの竹の処理、並びに既に出始めているヒメタケの刈取りをし仕上げを行った。この日、現役の若手が加入、初参加。会社の休みが水曜日故、月一回だけの参加に限られるが、矢田山でトレイルランニングを楽しませてもらっているので、この地の整備

活動を行っている当クラブに参加を強く望まれての加入。今日も生駒からランニングで参加、帰路も作業の疲れも見せず走り。頼もしい新人が加わり心強い限り。

### 2月25日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

参加者16名。器具備品の整備のための数名を残し、他は頂上展望台へ。「永遠の森」づくり地拵えもかなり進み、本日は草の二度刈り、切り株の切り取りすると共に、植栽位置決めをし、竹串を差す。植栽時掘りやすいように笹の根切をやりながら、植栽当日掘りやすいようにと一部予め軽く穴を掘った。

終了後、臨時理事会で、来賓の決定、準備並びに参加申し込みの状況の報告あり。また来年度の事業計画と助成事業の検討を行い、予め作業予定地の県の意向打診を行うこととした。



— 作業風景 —

### 3月5日(日) 自主活動 矢田山遊びの森

参加者10名全員、地拵えの為頂上展望台へ。丁度同じ頃、生駒のカブスカウトの一団が到着、休憩を取るとのことで、作業の開始を遅らし、子供達に我々の活動を紹介し、彼らの後展望台上からの紙飛行機飛ばしの競争を見て、歩き出したので活動スタート。南東角の法面での階段づくり、大きなナラ枯れの枝の切除、草の二度刈りを分かれて実施。植樹祭を迎える整備がかなり進んだ。午後は過日伐倒し玉切りした大きな楠の根元部分を椅子に利用すべく半割にし、後日仕上げを行う予定。この日は天気が良かったためか多くのハイカーが立ち寄った。中に植樹祭に参加を申し込んでいる大阪のグループもあり、当日を大いに楽しみにしていると言いながら、足を進めて行った。

### 3月11日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

参加者24名が、頂上展望台「永遠の森」植樹祭準備と炭窯前でのシイタケ植菌の二手に分かれての活動。植樹祭の準備としては、植栽地を5班にテープで区分けしたり、仮設トイレの準備する一方、過日伐倒したクスノキの大径木を使ってのベンチづくり。前回半割にしておいた幹部分切断面にカンナがけをし、切り込みを入れた切り株に据えて安定させ2つのベンチが出来上がった。もう一つ3m近くのもの半割にと、しかかったところでみぞれが降り始めたため早目に切り上げた。

シイタケ植菌班は、プロが伐倒したナラ枯れ木の枝をホダ木に利用。種菌2千個を約50本に打ち込み、木陰に井桁状で積上げ、最後に日除けとしてヒノキの枝葉を上を被せ仮伏せ完了。なお、女性達は植樹祭の昼食の弁当の検討・予約のため富雄駅近くで業者と打合せ。終了後の定時理事会報告。

- ・理事長より、来賓としてお願いしている県環境局佐野次長に挨拶に行った際、なら四季彩の庭づくり事業には、知事も殊の外関心を持たれている由との報告。
- ・植樹祭準備の進捗状況、手順の確認、一般参加者の申込は定員オーバーとなったため締め切りになった。苗木運搬の2tトラックの展望台までの下見、特に問題なし
- ・来年度活動並びに事業計画の検討と担当者決め。予定として みんなの森沿道左手の雑木林の整備  
モミジ谷人口林d dの間伐 R308 沿い人工林内竹の除伐を中心に整備、リーダー研修、本年同様曾

## 爾村で



ベンチづくり



カンナかけ



緑の募金事業 PR 看板



ホダ木の仮伏せ

3月18日(土) シイタケ植菌指導 王寺町菩提キャンプ場

9時半、同キャンプ場にクラブ員7名が集まり、事前打ち合わせ。10時同町教育委員会の司会で開会式の後、簡単な説明と注意事項を話し、6班に分かれて、保護者が電気ドリルを使ってホダ木に穴を開け、そこに子供達が種駒を木槌で打ち込みを行った。11時頃無事準備された60本ほどのホダ木すべてに打ち終わったので、すこし早目の昼食におにぎりと同汁を頂き、11時45分に閉会。この日の参加者は、一般55人(内、保護者22人)、現地スタッフ男女5人づつと町の教育委員会より1名でした。

3月24日(金) 自主活動 植樹祭直前準備

9時前に苗木屋が苗木140本と杭を、ユニックを備えた四駆の2トン車で到着。そのまま頂上展望台へ。この日の参加者11名は徒歩で。荷台からゆっくりと一本づつ降ろされる苗木を待って、まず桜をそれぞれの位置へ一輪車を使って運び込む。5mを優にこえるもので、根鉢も大きく3~4人一組での作業。この間苗木屋より植栽方法、注意事項を聞きながらの指導を受ける。最後に鳥居杭・一本杭を配置。また手作りの標柱を展望台広場東に設置。再度植栽の手順番線の締め方、スケジュールの確認。最後に道具・器具類の点検。仮設トイレ2基を設置し、すべての前準備が完了。あとは当日の好天を期待するのみ。



苗木を降ろす



植栽指導



手作りの記念標柱



杭を配る

3月25日(土) 「永遠の森」植樹祭 矢田山頂上展望台広場

当クラブ設立20周年並びに環境大臣表彰受賞を記念して開催。当日はまずまずの天候。9時過ぎから参加者が集まり始め、子ども交流館前で受付、行事の趣旨・日程等を記したチラシと記念誌”20年の歩み”を受取り、ヘルメットを着用し、順次展望台へ約40分のハイキング。10時半過ぎにほぼ揃ったところで開会。当理事長による挨拶では、参加者へと20周年を迎えられての感謝、「永遠の森」の由来を説明。次いで、来賓を代表して、奈良県環境局佐野次長、(公財)奈良県緑化推進協会吉田事務局長より、ご祝辞を頂きました。

作業開始に先立ち、班別リーダー5名の紹介。内一名、今年卒寿を迎えるとの司会者の言であちこちから”オー”という驚きの声。全員で展望台を背景に記念撮影し、場所を移して植栽手順の説明。植栽準備が整ったところで、来賓2名と理事長によるソメイヨシノの記念植樹。この後、各班の植栽地に分かれて予め決められた位置でソメイヨシノ・イロハカエデ・ヒラドツツジ各20本、ミツバツツジ80本、計140本の植栽作業。ツツジ類は5株での固め植え、他は一本立ち。皆は嬉々として穴を掘り、一本一本丁寧に植え、土を埋め戻し、周りに水鉢を作りながら踏み固めた。

午後が残った分を植えてしまい、サクラには鳥居杭、カエデには一本杭を打ち込み、これに昼休みの間に名前やメッセージを書き込んでおいた樹名板を吊り下げた。子供から大人まで、皆協力しながら進めて行ったため、予定より早めに作業を完了し解散。皆は口々に楽しかった又見に来ます、来年は花見が出来そうと言いながらもと来た道を余韻を浸りながら帰って行った。

この日の参加者は、県庁関係者、一般参加者、クラブ員合わせ 80 名強。加えて”子供の森”で青空保育をされている”ひよこクラブ”4 組の親子の特別参加あり。小さな幼児も頑張って坂道を登って来て、シャベルを持って手伝って来ました。”有難う！”



記念撮影



来賓の挨拶



記念植樹



植栽作業風景



頑張るこどもたち



手作りベンチで弁当  
(座り心地よく中々の評判)



鳥居杭の打ち込み



樹名板を付ける

## 「緑の募金」街頭募金活動と花の苗配布活動に参加を！

4月15日(土) 街頭募金活動

近鉄奈良駅前行基菩薩広場

9時～12時

4月29日(祝) 花の苗配布

馬見丘陵公園(北口) 大テント下

9時～12時

主 催：(公財) 奈良県緑化推進協会